

突發性難聽

難聴は徐々に耳の聞こえが悪くなっていくことが多いのですが、突然性難聴はある日突然、何の前兆もなく起こります。いったい原因は何なのでしょうか。

「あれ？ 音が聞こえづらい気がするけどどうしたんだろう。気のせいかな？」



**突然起くる耳なりや
聞こえづらさに注意**

「ある日突然起こり、耳鳴りやめまいを伴うこともあるのですが、なぜ突然起こるのか、その原因がよくわからないのが突発性難聴の特徴です」と笠井創先生はいいます。

「症状としては、普通は片方の耳だけに起こります。朝、いつものようになに目覚めて、そのときに耳の聞こえが悪いことに気がつくことが多いようです」

そのほか、電話をかけているときやヘッドホンで音楽を聴いているときに、片方だけ聞こえが悪くて気がつくというケースもあります。

「難聴の程度が軽い場合には、音が二重に聞こえるとか、耳が詰まつた感じがする、自分の話す声がいつもと違つて聞こえるというふうに表現される方も多いですね。それでどうもおかしいと思つて耳鼻科を受診したところ初めて突発性難聴だったとわかるのです」

突発性難聴は、片方の耳の聞こえが悪くなるだけではなく、完全に聞こえなくなるわけではないので、何日も気がつかずにそのまま経過して発見が遅れることがある疾患です。

一年齢的には40～50歳代に最も多く見られますが、20～30歳代でもなることはあります。ただ20歳以下や70歳以上になると発症は少なく、発症した方にそのときの状況を聞くと、睡眠不足だったとか、仕事上のストレスが多くったとか、疲れていたとか答える方が多いので、働き盛りの世代がなりやすい疾患といえるかもしれません。

+ 突発性以外の難聴

